

九州国際大学地域連携センター

(九国大サテライト・キャンパス)



地域連携センター開所にあたって

地域連携センター長 齋藤 貞之

今年(平成25年)4月2日、九州国際大学の初のサテライト・キャンパスが黒崎駅横のコムシティ2階にオープンしました。いよいよ九国大が街なかに進出し、大学が培った「知」を地域社会に発信し、地域との共同で「人づくり」に積極参加します。

地域連携センターという公式名称をサテライト・キャンパスにつけたのはなぜか。それは本学のサテライト・キャンパスの役割が、従来と異なるからです。

九国大のサテライト・キャンパスであるから、当然のことながら、九国大の学生を対象とした街なかでの教育と地域への本学に関する情報の発信基地としての役割を担います。

それ以外の新たな役割として、本学の学生と教職員が、大学内での教育・研究だけでなく、地域の「人づくり」「街づくり」に参加することで、「社会づくり」に貢献しようという意図のもと、「地域連携センター」という名称をつけることにしました。

本センターは、「人づくりが拓く街づくりへ」をコンセプトに、地域の発展の為に様々な事業を行います。地域コミュニティの中心的な役割を果たし、街づくりに貢献することで、「地域再生」の一翼を担うことを本センターの使命と考えます。その為にも、本学卒業生も含めた地域の方々とも連携した多様な事業を積極展開して

いこうと計画しています

また、センターの愛称は「きゅうこむ “Kiu-Com”」と名付けました。これは、本学の略称「KIU」にコミュニティ(地域)を含めた4つの英単語を重ねたものです。Community, Communication(語り合い), Combination(結びつき), Comfort(楽しみ)を集約した「COM」を念頭に、地域貢献活動への取り組みへの思いを表したものです。

地域との語り合いから、まずは結びつきを深める為にも、まずは本センターへ気楽に立ち寄られることをお待ちしております。



開所式 堀田学長挨拶

目次

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 地域連携センター開所にあたって | 3 研究員紹介 |
| 2 地域連携センターについて | 4 これからの主な予定 |
| 3 今年度実施した主な事業 | 4 編集後記・交通アクセス |

きゅうこむ “Kiu-Com” とは

九州国際大学(KIU:きゅう)がコミュニティ(こむ)と連携し、「人づくり」「街づくり」に貢献しようという意図を表した地域連携センターの愛称です。

地域連携センターについて

九州国際大学地域連携センターは、以下の3つの事業を実施することを目的としています。

1. 地域研究: 北九州地域の産学官民の連携による地域諸課題の解決に向けた調査・研究事業を実施します。
2. 地域連携: 地域活性化を目標とし、北九州地域の産学連携を強化する活動を実施します。
3. 生涯学習: 本学教職員による生涯学習機能を地域へ開放します。

この3つの事業において、九州国際大学の学術的な調査研究の成果や教職員・学生の力を活用し、北九州地域の様々な分野で人づくり・街づくりに取り組んでおられる方々を応援することで、本学が地域のコミュニティの中心的な役割を担えるようになる為、本学の研究者の協力を希望する研究活動や、教職員・学生との協働を希望するフィールドワーク活動を提案いただきたく、テーマを募集しています。

応募されたテーマについて、提案者と連携や協働をしながら、地域に関する環境の保全や、活性化、安全安心づくりなどに関して貢献することにより、街づくりに寄与します。

また、本センターの最大の特徴は、北九州市と連携して地域の「人づくり」の一端を担うことです。平成24年12月、九州国際大学はコムシティ進出に先立ち、北九州市と人づくり支援事業に関する協定を締結しました。この協定は九国大が培ってきた人的資源、知的資源、施設などを活用し、北九州市と連携して地域の「人づくり」に寄与することです。

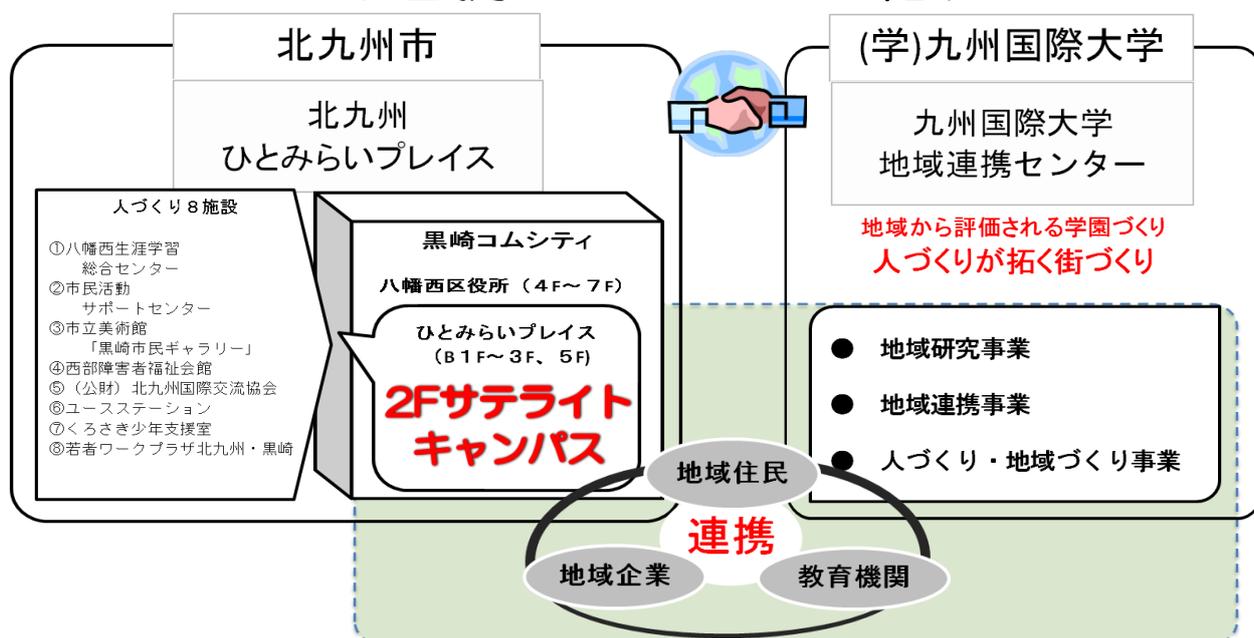
北九州市は、2020年を目標年次とした基本構想・基本計画「元気発信！北九州」プランを作成しています。その中の第一の基本方針が「人づくり」であり、今回、平成25年4月に再生したコムシティはこの「人づくり」の実現を目指す拠点施設として位置付けられています。具体的には、北九州市の「人づくり」関連の8施設（八幡西生涯学習総合センター、市民活動サポートセンター、若者ワークプラザ北九州・黒崎等々）をこのコムシティに集結し、「北九州ひとみらいプレイス」として、年齢、国籍、文化を問わず「人づくり」の総合的な北九州市の拠点づくりを実現しようというものです。

本センターは、この8つの施設と連携しながら、地域の「人づくり」の一翼を担うことを目指しています。

この為、訪れる人の利便性を念頭に、いつでも、だれでもが利用しやすい施設を目指して運営に努め、平日（月曜のみ休館日）は朝10時から夜9時まで開いており、土曜・日曜も朝10時から夕方6時まで開館して、笑顔で迎える九国大の専任職員2名が常駐しております。

地域住民と地域企業と教育機関の連携について、本学で協力・連携できる人づくり・街づくりに関するご提案がありましたら、まずは本センターまで、ご遠慮なく、お知らせください。

地域連携センターの紹介



今年度実施した主な事業

人づくり事業

●前期北九州市民カレッジ

■韓流ドラマで学ぶ「韓国語の世界」

期間:5月26日(水)～7月3日(水)【全5回】

内容:前半は韓流ドラマの代表作である「冬のソナタ」、後半は25%の平均視聴率を記録した「きらきら光る」に出てくるフレーズやダイアログを使用しながら、韓国語会話の練習を行いました。ドラマの会話から韓国語の魅力、ユーモアを伝えることができました。

■初心者のための漢詩入門講座

期間:5月30日(木)～8月22日(木)【全7回】

内容:この講座では漢詩[七言絶句]の作詩の基礎的な方法などを指導しました。また、批正と推敲により完成した作品を書き下ろし、講師が選定し、吟詠によって披露することにより、作品の音楽的な鑑賞もあわせて体験することができました。講師が選定した作品は、作品集として製本して受講生に配付しました。

地域連携事業

●「地域力を生む自律的職業人育成プロジェクト」学修評価グループ会議開催

開催日:4月24日(水)、6月12日(水)、7月24日(水)、8月16日(金)

内容:本学がリーダー校で、8大学が協力して、産業界の人材ニーズ調査の結果を基準に、キャリア教育における学修評価をどのような評価を用いて評価すべきかについて検討、提言していくことを目的として会議を開催しています。

●アジア共生学会企画運営委員会

開催日:5月16日(木)、6月4日(火)、7月2日(火)、8月6日(火)、9月10日(火)

内容:アジア共生学会が10月5日(土)に開催する「北九州学生サミット&アジア共生映画祭」(市民公募50事業)について、企画案等を検討する会議を行いました。

●大学コンソーシアム関門:関門の近代化遺産

期間:9月2日(月)～9月5日(木)

内容:近代における産業発展という歴史的条件もあり、北九州・下関地域には個性的な建築・土木遺産が数多く存在しています。この地域にどのような近代化遺産が、どのように残っているかを確認し、それを保存活用していく意義を考えていくことを目的とした講義を行いました。

地域研究事業

●九州国際大学地域連携推進事業(B:研究協力型)実施中

「九州国際大学地域連携推進事業」は、九州国際大学の有する学術的(人的資源、知的資産)な蓄積や教職員・学生等の力を活用し、様々な分野で地域づくりに取り組まれている方々を応援する事業です。

研究職員紹介



互いに掛け替えのない隣国でありながら、歴史認識の違いから誹謗中傷が絶えない最近の日本と韓国。ストレスは相手に対する不満を吐露することで和らぐが、これが長引けば返って蓄積してしまう。日韓関係の将来を切り開く次世代の登場に期待しながら、大学では比較論的視点に立って韓国の政治・経済・歴史・文化を包括的にみる「韓国学」、並びに韓国語習得関連の授業を担当しています。毎年実施している韓国での社会実習に参加する学生たちの好奇心と驚きを、どのように探求心へと導くか試行錯誤の毎日です。

森脇喜一 地域連携センター研究職員(国際関係学部教授)

人づくり事業

●後期北九州市民カレッジ(一般参加可・有料)
※詳細については、大学ホームページまたはパンフレット・北九州市ホームページをご覧ください。

■「世界遺産登録を考える」

期間:11月6日(水)~12月4日(水)
時間:18:00~20:00
講師:九州国際大学 教授 清水 憲一
内容:八幡製鉄所の施設を含む「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」がユネスコの世界文化遺産に推薦することを正式に決定した中で、世界遺産登録にはどのようなハードルがあるのか?文化庁世界遺産特別委員会委員である講師が考える材料を提供します。

■北九州地域における都市計画講座

期間:11月14日(木)~1月30日(木)
時間:18:30~20:30(一部変更有)
講師:九州国際大学 神力 潔司ほか
内容:北九州市におけるこれからの「街づくり」について、市民の皆様と一緒に街を育てるという「街育(まちい)く」を講座のキーワードにして、様々な視点を交えながら都市計画について学んでいきます。講師には大学の教員に加え、NPOの代表者を迎え、座学、現地調査を織り交ぜながら、皆様と共に考えていきます。

■韓流ドラマで学ぶ「韓国語の世界」

期間:12月6日(金)~1月17日(金)
時間:18:00~20:00
講師:(有)ネイバーズ代表取締役 森脇 錦穂
内容:韓流ドラマの中のダイアログや魅力的なフレーズを使って会話の練習を行います。前半は、『私の名前はキム・サムスン』、後半は、『カインとアベル』を教材にします。

■歴史ドラマから探る韓国の価値観

期間:12月18日(水)~1月29日(水)
時間:18:00~20:00
講師:九州国際大学 教授 森脇 喜一
内容:「近代」に向かう過程で韓国はなぜ「垂細垂的なるもの」を脱ぎ捨てることができなかったのか。その理由の一端を歴史ドラマ「根の深い木」、「馬医」から探ります。

■『種の起源』を読む I

期間:平成26年2月15日(土)~3月15日(土)
時間:15:00~17:00
講師:九州国際大学 准教授 松本 幸一
内容:今から約1世紀半前に出版されたダーウィンの名著『種の起源』を受講者で輪読してその内容を理解し、そして、『種の起源』がどのような人物に影響を受け出来上がったのか、近現代へどのような影響を与えたかを学びます。

地域連携事業

●ひとみらい交流ウィーク
(プレイス交流祭・まちなか交流祭)

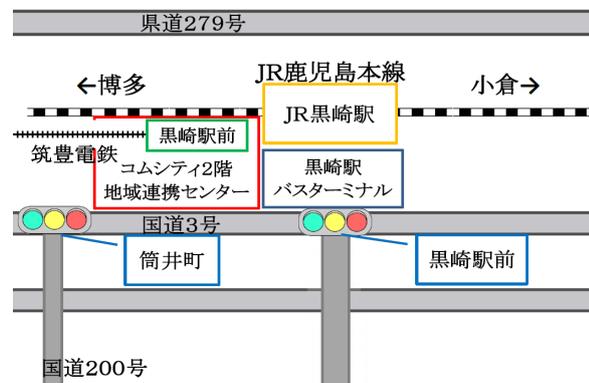
期日:11月6日(水)~12日(火)
内容:コムシティと副都心黒崎の賑わいづくりを目的として今年初めて開催されます。ブックリサイクルや若年者へのDV防止の研修ワークショップなどをサテライトキャンパスにて実施します。

その他

●付属高校進学説明会

期日:11月23日(土)
テーマ:「失敗しない高校選びのツボ」
内容:これまでの進学説明会とは一線を画したスタイルで開催します。中学生以下の方およびその保護者を対象にこれからの進路について、まずは高校選びについて、皆様と一緒に考えます。

アクセス



編集後記

九州国際大学地域連携センターは、平成24年12月に北九州市と九州国際大学が締結した「九州国際大学サテライト・キャンパスのコムシティへの進出に関する協定」により、人づくり支援機能に寄与する事業などを実施する為に開設しました。

本学教職員や学生は、以前から地域社会との連携や環境問題などへの自主的・積極的な活動を個別に実施していましたが、今後は、出来る限り、大学全体が連携して活動するよう、本センターは、地域発展についての課題や問題に関するご意見を広く募集しますので、皆様のお越しを心からお待ちしております。

今後のセンター事業について、このニュースレター以外に地域連携センターのホームページにも順次掲載しますので、下記のホームページへのアクセスもお待ちしております。

編集担当: I

〈発行〉九州国際大学地域連携センター

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号 コムシティ2階

Tel: 093-631-2203 Fax: 093-631-2204 Email: chiiki@kiu.ac.jp

URL: <http://www.kiu.ac.jp/organization/rccenter/>